

製品名: COL5A3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09194**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	170kDa

抗原情報

遺伝子名	COL5A3
別名	COL5A3; Collagen alpha-3(V) chain
遺伝子 ID	50509.0
SwissProt ID	P25940
免疫原	抗血清はヒトコラーゲン V α 3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

背景

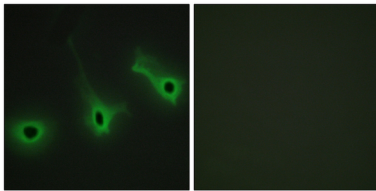
この遺伝子は、少量しか存在しない線維性コラーゲンの一種である α 鎖をコードする。線維性コラーゲン分子は、1種類以上の α 鎖から構成される三量体である。V型コラーゲンはI型コラーゲンを含む組織に存在し、I型コラーゲンとV型コラーゲンの両方から構

成される異型線維の集合を制御していると考えられる。この遺伝子産物は XI 型コラーゲンと密接に関連しており、V 型と XI 型のコラーゲン鎖が組織特異的な鎖の組み合わせを持つ単一のコラーゲン型を構成している可能性がある。この遺伝子の変異は、エーラス・ダンロス症候群 III 型患者のサブセットの症状に関連していると考えられている。ノーザンブロット法では様々なサイズのメッセージが検出されるが、配列情報からは短いメッセージの正体を確認できない。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: V 型コラーゲンは I 群コラーゲン (線維性コラーゲン) の一種である。ほぼ普遍的に分布する、結合組織の微量成分である。V 型コラーゲンは、DNA、ヘパラン硫酸、トロンボスポンジン、ヘパリン、インスリンに結合します。、PTM: トリペプチド繰り返し単位 (G-X-Y) の 3 番目の位置にあるプロリンは、一部またはすべての鎖で水酸化されています。、類似性: 線維性コラーゲン ファミリーに属します。、類似性: 1 つの TSP N 末端 (TSPN) ドメインを含みます。、サブユニット: ほとんどの組織では 2 つのアルファ 1(V) 鎖と 1 つのアルファ 2(V) 鎖の三量体であり、胎盤では 1 つのアルファ 1(V) 鎖、1 つのアルファ 2(V) 鎖、1 つのアルファ 3(V) 鎖の三量体です。、

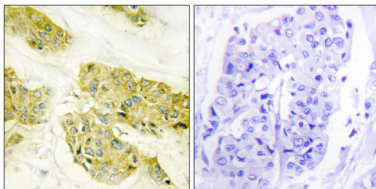
研究分野

焦点接着;ECM-受容体相互作用;

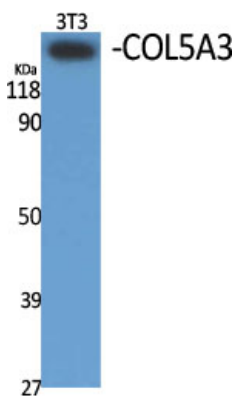
画像データ



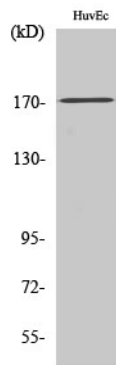
コラーゲン Va3 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



コラーゲン Va3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COL5A3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



COL5A3 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析